



2022年10月20日

マツダ、「MAZDA MX-30」「MAZDA MX-30 EV MODEL」を商品改良 —アクティブライフスタイルを表現するボディカラーを新設定。EV MODELは給電機能を充実—

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、コンパクト SUV「MAZDA MX-30(エムエックス サーティ)」、「MAZDA MX-30 EV MODEL(エムエックス サーティ イービー モデル)」を一部改良し、全国のマツダの販売店を通じて、本日より予約販売を開始します。発売は、11月初旬以降を予定しています。



「MAZDA MX-30 Modern Confidence 2WD(FF)」

MX-30は「わたしらしく生きる」をコンセプトに、クルマとともに自然体で自分らしい時間を過ごしていただくことを目指し、お客さまのライフスタイルに寄り添い、創造的な時間と空間を提案する、コンパクト SUV です。2050年時点のカーボンニュートラル実現を目指し、各地域における、自動車のパワースOURCEの適性や、エネルギー事情、電力の発電構成などを踏まえ、適材適所の対応を可能とするマツダの「マルチソリューション戦略」を具現化するモデルとして、マイルドハイブリッドモデル、EVモデルを設定しています。

お客さまからは、運転の楽しさや快適さ、また上質なデザイン、インテリアの質感に高いご支持をいただいております。

今回の商品改良では、ソウルレッドクリスタルメタリック、ジェットブラックマイカ、ジルコンサンドメタリックにマルチトーンのボディカラーを新たに設定。MX-30の特徴であるキャビンとフリースタイルドアを際立たせる「フレームドトップ」をブラック単色とすることでキャビンをより軽快に見せ、アクティブなライフスタイルにマッチした表現としました。

MX-30 EV MODELでは、AC1500W/AC150W電源、V2Hの給電機能を追加し、車両に蓄えた電力を活用する事で、電気製品や建物への給電により、多様なライフスタイルの楽しみ方を広げるとともに、万が一の際の電源として使用できる機能を強化しました。

また、お客さまが自分の意志で移動したり、行動することをサポートする選択肢の一つとしてご提案する、手動運転装置付車「MX-30 Self-empowerment Driving Vehicle(セルフ エンパワーメント ドライビング ビークル)」は、MX-30のすべての機種で選択が可能です。

マツダは、クルマ本来の魅力である「走る喜び」によって、美しい「地球」と心豊かな「人」・「社会」を実現し、人の心を元気にすることにより、お客さまとの間に特別な絆を持ったブランドになることを目指してまいります。

■「MAZDA MX-30」および「MAZDA MX-30 EV MODEL」の商品改良の概要は以下の通り

「MAZDA MX-30」 / 「MAZDA MX-30 EV MODEL」 共通

- **アクティブなライフスタイルを表現するマルチトーンのボディカラーを新設定**
 - ・ MX-30 の特徴であるキャビンとフリースタイルドアを際立たせる「フレームドトップ」を、ブラック単色とすることでキャビンをより軽快に見せ、アクティブなライフスタイルにマッチした表現とするマルチトーンの、ソウルレッドクリスタルメタリック*1、ジェットブラックマイカ*2、ジルコンサンドメタリック*2 を新たにラインナップ*3。
- **シフトノブの操作性を進化**
 - ・ 人間中心の考え方にに基づき、素早い操作時でも、よりスムーズに操作して頂けるよう、従来、シフトノブ右側にあったボタンをシフトノブの裏側に配置。

「MAZDA MX-30」

- **新グレード「Industrial Classic(インダストリアル クラシック)」「Modern Confidence(モダン コンフィデンス)」を設定**
 - ・ MX-30 のデザインコンセプトである「Human Modern」を体現する「Industrial Classic」「Modern Confidence」を新たにグレード設定。

「MAZDA MX-30 EV MODEL」

- **AC1500W/AC150W 電源、V2H を追加**
 - ・ バッテリーから電気製品に電力を供給することができる AC1500W/AC150W 電源を設定*4
AC1500W 電源はラゲッジルーム、AC150W 電源はフロントコンソールに設定*5
 - ・ 車の駆動用バッテリーに蓄えられた電力を、建物に設置されている V2H 充放電設備に接続することで建物へ給電できる、V2H (Vehicle to Home) 機能を全機種標準装備*6。
- **バッチの追加・変更**
 - ・ フロントフェンダーにバッチを追加
 - ・ バックドアのバッチを新デザインに変更

■メーカー希望小売価格(消費税込)

「MAZDA MX-30」: 2,640,000～2,997,500 円

「MAZDA MX-30 EV MODEL」: 4,510,000～5,016,000 円

「MAZDA MX-30 Self-empowerment Driving Vehicle」*7: ベース車両価格 + 528,000 円*8

■「MX-30」に関する情報サイト

「MAZDA MX-30」:

<https://www.mazda.co.jp/cars/mx-30/>

「MAZDA MX-30 EV MODEL」:

<https://www.mazda.co.jp/cars/mx-30evmodel/>

「MAZDA MX-30 Self-empowerment Driving Vehicle」:

<https://www.mazda.co.jp/cars/mx-30/grade/sedv/>

■CLUB MAZDA:https://www.mazda.co.jp/clubmazda_intro/

CLUB MAZDA は、マツダに興味関心をお寄せいただいている皆様と“もっとつながる”

新しい無料会員サービス。新型車の先行情報やイベント情報など、会員限定のコンテンツを配信いたします。

以 上

-
- *1 マルチトーンのスoulレッドクリスタルメタリックは特別塗装色のため、メーカー希望小売価格 110,000 円(消費税抜き 100,000 円)高となります。
 - *2 マルチトーンのジェットブラックマイカ、ジルコンサンドメタリックは特別塗装色のため、メーカー希望小売価格 66,000 円(消費税抜き 60,000 円)高となります。
 - *3 既存ボディカラーのスoulレッドクリスタルメタリック(3 トーン)、ポリメタルグレーメタリック(3 トーン)は廃止。
 - *4 「EV Highest set」に標準設定。「EV」「EV Basic set」はオプション設定となります。
 - *5 規定内の電力容量である電気製品でも使用できない場合があります。
AC 電源に複数の電気製品を接続しないでください。発煙・発火の原因となります。
既定の電力容量を超える電気製品を使用しないでください。誤作動の原因となります。
 - *6 V2H 充放電設備を介した給電を行うには、別売りの「V2H 充放電設備」が必要です。V2H 充放電設備については、V2H 充放電設備を取り扱っているメーカーにご確認ください。
 - *7 リング式アクセル&レバーブレーキ、ブレーキサポートボード、移乗ボードの 3 点がセットの装備です。新車への架装のみの対応となります。現在お乗りのお車への架装はできませんのでご了承ください。
 - *8 取付費込み。消費税は非課税となります。